

# テキスト執筆陣

## 第1巻

※肩書は執筆当時、敬称略

章 題		執 筆 者
1	読書アドバイザーとは何か その可能性について	
2	本と読書の歴史	津野海太郎（評論家、和光大学名誉教授）
3	ざっくり整理する「さまざまな読書活動と著作権」	福井健策（弁護士・ニューヨーク州弁護士/日本大学芸術学部・神戸大学大学院客員教授） 原口 恵（弁護士）
4	出版をめぐる法律について	村瀬拓男（弁護士）
5	書籍編集の現場から—モノとしての本づくり	西 泰志（「文春新書」編集部）
6	絵本をつくる—編集の現場から—	細江幸世（フリー編集者）
7	雑誌のつくり方	富川淳子（跡見学園女子大学文学部現代文化表現学科教授）
8	コミックの編集	横手拓治（表現学者・淑徳大学教授）
9	校閲という役割	井上孝夫（校閲者、新潮社校閲部元部長）
10	印刷の歴史と版式	中西秀彦（中西印刷株式会社代表取締役社長）
11	製本とは	中西秀彦（中西印刷株式会社代表取締役社長）
12	文芸出版—重層的な生態系	私市憲敬（株式会社新潮社文化事業部長・社長室長）
(コラム)	ひとり出版社の立ち上げ方	島田潤一郎（出版社 夏葉社代表取締役）
13	出版流通の仕組みと背景	柴野京子（上智大学文学部新聞学科教授、NPO本の学校理事長）

## 第2巻

章 題		執 筆 者
1	書店の歴史	田口幹人（楽天ブックスネットワーク勤務）
(コラム)	絵本専門店は、全力で取り組むに値する素晴らしい仕事	今本義子（株式会社ブックハウスカフェ代表取締役）
2	オンライン書店の過去・現在と未来に向けて	DNP（オンライン書店 株式会社トゥ・ディファクト）
3	電子書籍による「本との出会い」	植村八潮（専修大学文学部教授）
4	古書の世界・古書店にもいろいろある	八木壮一（八木書店取締役会長）
5	学校図書館について	有山裕美子（滋賀文教短期大学専任講師）
6	公共図書館の存在意義	小林隆志（鳥取県立図書館館長）
(コラム)	子どもの手の届くところに本を	児玉ひろ美（図書館司書）
7	まちライブラリー等の本のある場所	磯井純充（まちライブラリー提唱者、一般社団法人まちライブラリー代表理事）
8	多様な読者と読書	野口武悟（専修大学文学部教授）
9	なぜ海外の書店を知る必要があるのか	星野涉（株式会社文化通信社取締役社長執行役員）

### 第3巻

章 題		執 筆 者
1	読み手の育て方ー読書会を通じて	山本多津也（読書コミュニティ「猫町倶楽部」主宰）
2	本の選び方ー編集工学を応用した〈選書〉の現場から	太田 剛（株式会社ギア〔編集工学機動隊GEAR〕代表）
3	書評について	東えりか（書評家、新刊ノンフィクション紹介サイトHONZ副代表）
4	子どもに本を手渡すには ひとつのテーマから広がるブックトーク	徐 奈美（関東学院小学校司書教諭）
(コラム)	ブックトークが生まれるとき	越高一夫（児童書専門店「ちいさいおうち書店」店主）
5	本を通して人を知る 人を通して本を知る ビブリオバトルを楽しもう！	市川紀子（ビブリオバトル普及委員会関東地区副代表、株式会社有隣堂広報・マーケティング部）
(コラム)	ブックイベントを開催して	洞本昌哉（株式会社ふたば書房代表取締役）
6	ことばの力と思考力を育てる絵本読み	今井むつみ（慶応義塾大学教授）
7	10代の読書	飯田一史（ライター）
8	読書推進について	田口幹人（楽天ブックスネットワーク勤務）
9	現役世代の読書	植村八潮（専修大学文学部教授）
(コラム)	出版に関する情報等の検索について	落合早苗（020BookBiz株式会社代表取締役・一般社団法人日本出版インフラセンター特別委員）
(コラム)	講座修了生の活動	藤村由美（7期）、宇都宮香（15期）、中村 謙（20期）、中田京子（20期）、霜島英梨（24期）